

春²⁰¹⁰号

おおた文化の森

「森から、
ジャンプ」

特集

「2010文化の森フォーラム」開催 平成22年5月8日(土)



平成22年度は、「大田文化の森運営協議会」が発足して、10年目の記念すべき年でありま
す。行事のトップとして「文化の森フォーラム」を開催いたしますが、この会は「総会」という位
置づけとし、過去1年の事業活動報告や、これからの1年の「展望」につき、発表を行う「キッ
クオフミーティング」です。同時開催の「交流会」では、運営委員・文化プレイヤーおよび一般
区民の方々の、意見交換や、懇親を深める有意義な会として実施する予定です。開かれた
「総会」とするため、実行委員会を結成し、すべての要綱は、実行委員会で協議決定する、オ
ープンな運営を行うことにしています。

大田区の新10ヵ年計画「地域力を生かした魅力的なまちづくり」「区民主体の区政実現」をモ
ットとした計画書が策定されました。この新基本構想に基づき、運営協議会創発足10周年
の記念すべき年にふさわしい「テーマ」を設定、「ジャンプする文化の森」を目標とした題材に
つき、「公開討論会形式によるフォーラム」といたしたいと思っております。

区民の皆様の積極的なご参加を、ぜひお願いいたします。詳細については区報にてご案内
申し上げます。

概要は、次の通りです。

- 1.日時 平成22年5月8日(土) 午後1時30分～
- 2.会場 大田文化の森多目的室
- 3.内容 1)「総会」および「公開討論会」
2)交流会

運営委員 青柳 博之

特集

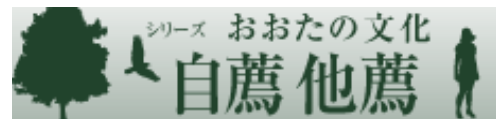
「2010文化の森フォーラム」開催 平成22年5月8日(土)

5月に開催される文化の森の総会である「文化の森フォー
ラム」が行われます。意見交換・親睦を深める予定で
す、

運営協議会第四期へのバトンタッチ ～発足10周年記念の年を迎えて～

今年第四期の新しい運営委員でのスタートになりま
す。第三期運営協議会会長からのメッセージです。

読み応えのあるコラムが自慢



わが街大田の文化を見つけて育てる仲間の活動を自
薦他薦で紹介する新シリーズ。初回は歴史的な水環境を
学び発信する「水路の会」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント
支援しています。数々のワークショップやイベントをご
紹介します。



シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材し
ます。今回は大田区立山王小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤ
ー」の活動のご案内です。今まで興味はあったけど何
をするのか分からなかった方、是非読んでみてくださ
い。

運営協議会第四期へのバトンタッチ
～発足10周年記念の年を迎えて～

運営協議会自主事業

「大田文化の森運営協議会」が発足して10周年を迎える年に、第四期の新しい運営委員が活動をスタートします。大田区長の委嘱を受けた委員が、区民の文化活動の育成、支援を行うことを使命とした「協議会」です。区との協働により、大田区の文化・芸術の振興、まちづくりの推進等、区民の主体的な文化活動を支援するのが目的として、過去三期の各委員は、この理念を尊重しながら、9年間の活動を行ってきました。



一期が「創世期」、二期が「変動期」、三期が「安定期」との位置づけができました。第四期に期待したいのは「飛躍期」としてさらに、活動の範囲を広げて欲しいものです。「文化プレイヤー（文化ボランティア）」というユニークな制度を作り、この自発的登録による文化プレイヤー中心の活動が大きな柱となり、定着した活動ができています。

10年目の節目の年ですので、新運営委員に望みたいことは、原点に戻り新しいエネルギーを導入しながら、広い地域の区民の皆様の文化活動支援をして欲しいと思います。「文化の森からジャンプ」をモットーとして、区民文化活動の「コア」的な存在となれば望ましいと思います。

区民の皆様、第四期運営協議会に対して、ご協力、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

文化プレイヤー レポート

文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は2010文化の森フェスタから「赤毛のアン・フェスティバル」をご紹介します。

第16回 フォレストメーツ チクリ筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2010年大田文化の森 フェスタスケッチ

2月に行われた2010年文化の森フェスタのイベントを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 旬でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.35Web版
2010年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森



シリーズ

おおたの文化 白薦他薦



わが街大田のあちこちで地域の文化を見つけ親しみ育てる仲間が活動しています。街をいきいきとさせる細胞であり血管です。白薦他薦で紹介していきます。(編集部)

大田の歴史的な水環境を学び発信する「水路の会」

「水路の会」座長 多田 鉄男

大田区の低地平野部を歩いていると「六郷用水物語」と銘打った説明板や地面の埋め込みタイルを目にすることがあります。また、整然と市街地化された町並みの一角に、突如として緩やかな曲線を描いた道路が現れたり、植樹帯(グリーンベルト)と出合ったりします。それは、かつてそこを用水が流れていた、ということをお話しています。いつ頃、誰が、何のために、どうやって用水を開削し、その結果、地域の先人たちの生活はどのように変わっていったのでしょうか?

「水路の会」は、大田区立郷土博物館友の会の有志学習会として1985年(昭和60)の発足以来、区内外の自然河川、用水、湧水など、私たちの生活に関わる歴史的な水環境を学習してきました。参加者に新旧交代はありますが、約15名の会員が博物館の学芸員を顧問に、座学と実地踏査を続けています。

2003年の郷土博物館主催の企画展「六郷用水歴史探訪」では、「六郷用水・二ヶ領用水床置復元水路図(縦3.9m×横5.4m)」や「時代別大田区水利変遷図」などの制作に協力しました。また、翌2004年の「友の会20周年記念展」では、区内の用水路跡をたどって歩けるようにした「散策コースマップ」や「六郷用水Q&A」、「六郷用水のいろは」などを作って展示しました。

最近では、1806年(文化3)に作られた『東海道分間延絵図』を基に、東海道を横切る20ヶ所の橋や埋樋の位置を特定し、現代地図に落とし込みました。その成果は(財)日本地図センター発行の『「地図中心」大田区特集号(2009年10月)』に記載、「文化の森収穫祭」でも展示発表しました。今年2月7日に開催された「文化の森フェスタ」でも、「家康もビックリ! これが400年後の六郷用水だ」と題して、江戸周辺の用水図とその現状を地図と写真を中心に展示をさせていただきました。



「2010文化の森フェスタ」に参加 多田さん(左)と落合さん

昨年5月から始まった大田区教育委員会社会教育課主催の区民大学「水先案内人養成講座～六郷用水に学ぶ～」には協力者として参加しました。この講座は3月13日に行われた公開シンポジウム「郷土を語り継ぐ…六郷用水から学んだこと」をもって終了しました。江戸幕府が開かれる6年も前の1597年から調査が始められ、1599年に本格的な工事に着手、1611年に竣工した六郷用水は、それまでの農業生産規模を飛躍的に拡大させました。大田区の近世の歴史に最大の貢献をし、現在の私たちの暮らしの中にも復元親水散策路として親しまれています。

来年2011年は竣工400年の節目の年を迎えます。対岸の川崎側でもまったく同時期に六郷用水とは双子の用水、二ヶ領用水が開削されました。

これを機会に、大田の歴史遺産、六郷用水の過去、現在、未来を一緒に考え、次の世代に継承していきませんか。

最後に、私たちの学習目的を折り句にしたキャッチフレーズを掲げておきます。

特集

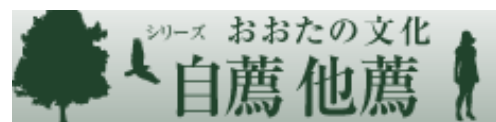
「2010文化の森フォーラム」開催 平成22年5月8日(土)

5月に開催される文化の森の総会である「文化の森フォーラム」が行われます。意見交換・親睦を深める予定です。

運営協議会第四期へのバトンタッチ ～発足10周年記念の年を迎えて～

今年は第四期の新しい運営委員でのスタートになります。第三期運営協議会会長からのメッセージです。

読み応えのあるコラムが自慢



わが街大田の文化を見つけて育てる仲間の活動を白薦他薦で紹介する新シリーズ。初回は歴史的な水環境を学び発信する「水路の会」です。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校取材します。今回は大田区立山王小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会自主事業

運営協議会の委員が自主的に独自に企画・実施運営を行った事業です。昨年は9の企画を実施致しましたのでご紹介します。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2010文化の森フェスタから「赤毛のアン・フェスティバル」を

六 郷用水を通して
郷土の歴史に学び
よりよい社会と
うつくしい環境が
すえながく保たれるよう
いっしょに考えていきましょう

運営委員 福野 幸雄



大森東地区の今むかし…

大森東地区 自治会連合会
会長 平林 盛久

大森東地区は、その昔浅草海苔養殖の一大産地でした。しかし、東京オリンピック開催のときに、漁場が埋め立てられ、やむなく放棄することになりました。海苔の干し場には町工場が建てられ、月日を経てマンションや一戸建ての住宅地になり、海苔養殖のなごりも少なくなっています。そんななかにも、小学校の運動会には、親子三代で応援する姿があちこちで見られ、下町のあったかい風情を感じることができます。一方、地元の元海苔業者の方々による「海苔付け体験教室」が毎年、地域の小学校で行われ、海苔の歴史を伝承すると同時に地域のふれあいの場となっています。

また、この地区には五つの自治会があり、日ごろから相互に協力し合って、「いつつのわ」を合言葉に、住みよいまちづくりに努めています。例えば、全自治会協力のもとに毎年行われる合同防災訓練では、炊き出し訓練や救護訓練、まちなか訓練などを各自治会が各々担当し、地域全体の訓練として実施しています。この数年では、PTAと小中学生、障害施設の利用者など、新しい参加者への拡大活動も積極的に行ってきました。こうした地域活動の盛り上がりこそ、地域防災力の向上につながるの意識で推進しています。さらに、地域の知的障害者施設の行うお祭りを「いつつのわ幸陽祭」とし、自治会はもちろん民生児童委員や青少年対策委員会など地域の人々が、お祭りの各コーナーを主体的に担い、成功に向けて尽力しています。海苔全盛の頃に比べれば、大きな時代の変化がありました。しかし、そうした変化を取り入れながら、いっこうに変わることのない「人情味あふれるこの地域」を大切にしていきたいと思えます。そして、この地域に生活する誰もが、安心してらせるまちを目指し、微力ですが、縁の下の力になっていきたいと願っております。



エアータント内でのAED操作訓練

紹介します」

第16回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2010年大田文化の森 フェスタスケッチ

昨年11月に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報
文化の森にもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.35Web版
2010年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



学シリーズ 学校

幾つになっても、小学校や中学校のことは妙に覚えているものです。かしまった教室もそうぞうしい校庭もなつかしく甦ります。大田区の学校を、時に訪れて、希望に満ちた若い世代の営みを取材や見学させていただきましょう。そこには溢れるエネルギーと明るい未来を感じることができると思います。(編集部)

～大田区立山王小学校～



校庭に入ると土俵があり、二宮金次郎像、桜の幹の太さが歴史を感じます。大田区立山王小学校(山王1-26-33)は、品川区に隣接した山王台にあり、周囲には大森貝塚、山王遺跡があります。今年開校85年目を迎える本校は大正14年(1925)入新井第三尋常小学校として開校、その後大田区立山王小学校と改称されました。樹木、四季折々の自然と小鳥のさえずりを楽しめる南校庭は低学年専用校庭として利用されています。教室は、教室と廊下の壁を取り払い、教室前のオープンス

ペースがたいへん開放的です。

算数は3年生以上は少人数指導、金管バンドが発表会や学校行事で活躍、更に各学年クラスごとに課題を与えて、自分で取り組む教育を毎日の体験的学習に取り入れ子どもたちに自発性を持つように育てている点が特徴に思えました。例えば1年生の「しごと大きくせん」では上履き洗いをし、家族のありがたさやお手伝いの大事さを習います。4年生の「山王の町のバリアフリー」では車いす・白杖・手話体験を通して、「道具をうまく活用したり、周りの人が支えたりすることで障害は乗り越えることができるということ」。「本当の意味のバリアフリーとは、人の心のバリアが取りのぞかれることであること」を学びます。

「学校でちょボラ」(ちょこっとボランティア)は子どもたちが学校で出来る「ちょボラ」を考えて取り組んだボランティア活動。年下の生徒に折り紙を教えたり、大縄の跳び方を教えたり、お笑いをしたりして笑わせるグループ。主事さんのお手伝いをして落ち葉を集めたグループ。空き缶やボトルキャップを集めてリサイクル運動に貢献したグループ。

「英語活動」では保護者がゲストティーチャーとなり、アメリカからのゲストを招きアメリカの地図を眺めながらロサンゼルスを探したり、一緒にゲームをしたり充実した活動をしています。「山王の学び舎」は保護者、地域、学校が一体となって学習、徳育、体育を通して情操豊かな子どもたちを育てることを目指しています。



教室と教室前のオープンスペース

運営委員 大瀧 真理子

特集

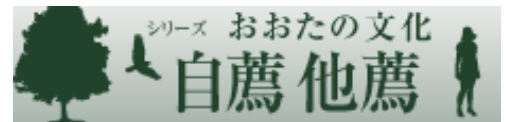
「2010文化の森フォーラム」開催 平成22年5月8日(土)

5月に開催される文化の森の総会である「文化の森フォーラム」が行われます。意見交換・親睦を深める予定です。

運営協議会第四期へのバトンタッチ ～発足10周年記念の年を迎えて～

今年は第四期の新しい運営委員でのスタートになります。第三期運営協議会会長からのメッセージです。

読み応えのあるコラムが自慢



わが街大田の文化を見つけて育てる仲間の活動を自薦他薦で紹介する新シリーズ。初回は歴史的な水環境を学び発信する「水路の会」です。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立山王小学校です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会自主事業

運営協議会の委員が自主的に独自に企画・実施運営を行った事業です。昨年は9の企画を実施致しましたのでご紹介します。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2010文化の森フェスタから「赤毛のアン・フェスティバル」を

手話の世界を、広げる喜び



今から、27年前、寝たきりの母が目もかすみ、テレビを見る楽しみもなくなったので、本でも読み聞かせてあげようと朗読の会に入会して勉強を始めました。その会の仲間の一人に手話ダンスの会に誘われたのがきっかけです。手話ダンスの素晴らしさを知りました。まもなく母も逝きさびしさも手伝ってか、家業も主婦業もやりながら、日本手話ダンス友の会会長西沢佑氏の指導を受け、指導員の認定証を取得しました。現在のボランティアグループ“ゆたか”を立ち上げ25年、4年前に創立20周年記念を東御市手話ダンスグループと共に文化の森で盛大に祝うことができ、今年は25周年記念行事を予定しています。

当初からの“ゆたか”の会員の中に3名が80歳を超え、手話もステップも楽しく元気に踊っています。今までこの方たちと共に児童館、保育園、小学校、高齢者施設、もちろん障害者施設もまたイベント等にも手話ダンスを携えてのボランティアをさせていただき、多くの方々と楽しい、嬉しい交流をしてまいりました。長野県にも、いくつもの手話ダンスの教室を立ち上げ、今ではそれぞれの地域でボランティア活動しております。大田区と友好都市である長野県東御市、他に同県茅野市、さいたま障害者ふれあいセンターへは、毎月1回指導に赴き、嬉しい交流しております。手話ダンスを始めてから、障害がありながらも一生懸命生きておられる多くの方々のことを知りました。児童等にも障害者に対して優しい心を、共に生きることの大切さを伝えていきます。

8年前、一番の協力者だった夫が急逝したときも、手話ダンスが・・・その仲間が癒してくれました。手話ダンスは悲しみを半分、喜びは倍にしてくれるのです。文化の森での毎月のレッスン、収穫祭には毎年発表させていただき、お役に立てばとの気持ちで、文化プレーヤーの一人として、75歳の今、健康に十分留意して自分の持てる力でもう少しの年月、頑張りたいと願っています。



「収穫祭」に参加(中央が筆者)

文化プレーヤー 北原 豊子

紹介します」

第16回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2010年大田文化の森フェスタスケッチ

2月に行われた2010年文化の森フェスタのイベントを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報
文化の森にもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

- 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。
- ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.35Web版
2010年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



おおた文化の森

運営協議会自主事業

区民が楽しめる、
より充実した企画に向けて!!

「運営協議会自主事業」は、運営協議会の委員が自主的に独自に企画・実施運営して行く事業と一般区民から個人としてあるいは団体としてスポット的に企画が持ち込まれ、運営協議会委員が内容を吟味し企画の初期段階から参画し、企画、実施運営していく事業とがあります。

後者については、公募企画が年1回の応募で応募期間が限定されているため、その期間をはずれたスポット的な公募とみなされるものです。

これは、運営協議会が一般区民の文化活動の育成・支援という立場からすれば当然のことです。

もちろん両事業とも最終的には文化会議に諮られ承認されて実施に移されます。

平成21年度の運営協議会自主事業は、以下の通り9企画を実施しました。

1. 大田文化の森合唱団演奏会
2. 季節寄席
3. 大田文化の森「歌声喫茶」
4. 0歳からおやこでコンサート
5. 読み切り小説～時代小説へのお誘い
6. 大田区民映像祭
7. 第1回楽しいフレスコ画に挑戦
8. 文化の森シネマ館
9. フレスコ画「講演と作品展」

継続企画については、年々内容も充実・向上し、参加者も多く、好評を博している企画ですが、何年も続いていると得てしてマンネリ化に陥りがちです。そこで運営協議会の基本理念である「公平性」「透明性」「公開性」はもとより、その他いろいろな観点から毎年見直しを行ってきています。また、今後充分自立できると文化会議で判断されれば協議の上、運営協議会から自立し、外へはばたいて活動していただくことも大切と思っています。

例えば「大田文化の森合唱団」は過去7年間の育成・支援で、事業体制も確立され、内容も充実し、立派な活動団体に育ってきましたので来年度からは自立し、主として外部で文化活動をするようになりました。これは、運営協議会が文化活動の育成・支援という使命を如実に表わしている例であり、大きな意義を持つものであります。



「大田文化の森」歌声喫茶



21年度は上記6つの継続企画に加え、新たに3つの企画を実施しました。

「文化の森シネマ館」は、以前からホールで「映画」をとの一般区民の方々の声が多くよせられ、ようやく実現するのはこびとなりました。

「鉄道員」「ラストゲーム」「陪審員」「母べえ」「80日間世界一周」と邦画、洋画を取り混ぜ成人向けを5回、夏休みに文化の森夏祭りに併せ、子ども向けとして「子ぎつねヘレン」と

特集

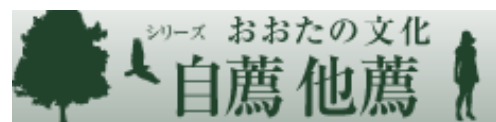
「2010文化の森フォーラム」開催 平成22年5月8日(土)

5月に開催される文化の森の総会である「文化の森フォーラム」が行われます。意見交換・親睦を深める予定です。

運営協議会第四期へのバトンタッチ ～発足10周年記念の年を迎えて～

今年は第四期の新しい運営委員でのスタートになります。第三期運営協議会会長からのメッセージです。

読み応えのあるコラムが自慢



わが街大田の文化を見つけて育てる仲間の活動を自薦他薦で紹介する新シリーズ。初回は歴史的な水環境を学び発信する「水路の会」です。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

学シリーズ 学校

シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校取材します。今回は大田区立山王小学校です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会自主事業

運営協議会の委員が自主的に独自に企画・実施運営を行った事業です。昨年は9の企画を実施致しましたのでご紹介します。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2010文化の森フェスタから「赤毛のアン・フェスティバル」を

れも大好評で、特に「母べえ」は定員(259名)を200名ほどオーバーしたため、午後、夜間と2回に分けて実施しました。

また、「ラストゲーム」では、神山征二郎監督を招き、舞台挨拶をしていただきました。

「第1回楽しいフレスコ画に挑戦」は、大田区山王在住の著名なフレスコ画家大野彩先生を講師に招き、古くから世界中に描き続けられてきた壁画の一種であるフレスコ画の素晴らしさ、描く楽しさ、技法を体験していただき、愛好家を増やし、将来的には大田区を代表するアートに育てたいという思いから今後の継続企画として実施しました。

以上のように、運営協議会自主事業は、運営協議会委員が自主的に企画・運営して行く事業はもとより、スポット的に一

般区民の個人或いは団体から持ち込まれた企画について、運営協議会の主催事業として、委員が企画の最初の段階から参画し、サポートしていく事業として、年1回応募する公募企画事業と共に、一般区民の主体的な文化活動を支援する立場からも、今後も企画数を増やし、充実させていく必要があると考えています。

一般区民の皆様方からの素晴らしい企画を期待しています。いつでも運営協議会事務局にお声をかけてください。



第1回フレスコ画に挑戦

運営委員 宗 正雄

紹介します」

第16回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2010年大田文化の森 フェスタスケッチ

2月に行われた2010年文化の森フェスタのイベントを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森にもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

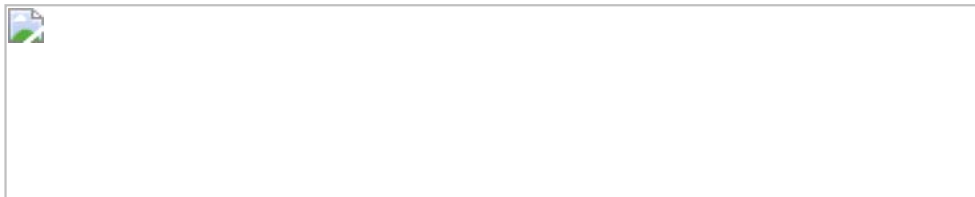
大田文化の森Vol.35Web版
2010年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



文化プレイヤー レポート



2010年2月6日(土)午後2時より大田文化の森ホールで催された『赤毛のアン・フェスティバル』は、地元文化に光を当てる「2010文化の森フェスタ」の前日祭として開催されました。

大森は「馬込文士村」という呼称で知られる文化豊かな地域で数多くの文学者や芸術家が互いに親交を深めた土地でした。

文士村の住人の中でも村岡花子は1919年に大森に居を構え、1968年、75歳で亡くなるまでほぼ半世紀にわたってここに暮らしました。「『大人と子どもが一緒に楽しめる本』の翻訳を生涯の仕事とした村岡花子」の代表作は何といっても『赤毛のアン』です。



ミュージカル「赤毛のアン」



子どもたちの手づくりの影絵

第一部では毎年プリンス・エドワード島で上演されるミュージカル『赤毛のアン』から11曲の歌をオペラ歌手4人が歌い、イングルサイド・ピアノ三重奏団が演奏、さらにはストーリーの朗読、そして子どもたちの手づくりの影絵、という大変欲張りな企画でアンの世界を再現し“歌と影絵と朗読の表現が全部ステキで楽しかった”“子どもたちの影絵がかわいかった”と好評でした。

二部では『アンゆりかご〜村岡花子の生涯』の著者で、大森にて翻訳家の姉と共に「赤毛のアン記念館・村岡花子文

庫」を主宰する村岡恵理さんが、代表作『赤毛のアン』を村岡花子が戦争中に翻訳するに至る経緯を、地元の人たちとのエピソードを交えて様々な角度から紹介しました。

“講演会もとてもわかりやすいお話でよかった”“今まで知らなかったエピソードを聞くことが出来てよかった”“赤毛のアンを読んでいた学生時代に戻っている自分にも感動し、明日からもがんばりたいと思いました”と聴衆を元気付けたようです。

またハワイエではプリンス・エドワード島の写真展に加え、アン・グッズや村岡花子の翻訳によるアン・シリーズ全10巻なども販売され、まさにフェスティバルにふさわしいにぎやかな雰囲気でした。



村岡恵理さん

特集

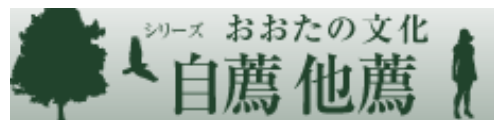
「2010文化の森フォーラム」開催 平成22年5月8日(土)

5月に開催される文化の森の総会である「文化の森フォーラム」が行われます。意見交換・親睦を深める予定です。

運営協議会第四期へのバトンタッチ ～発足10周年記念の年を迎えて～

今年第四期の新しい運営委員でのスタートになります。第三期運営協議会会長からのメッセージです。

読み応えのあるコラムが自慢



わが街大田の文化を見つけて育てる仲間の活動を自薦他薦で紹介する新シリーズ。初回は歴史的水環境を学び発信する「水路の会」です。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校取材します。今回は大田区立山王小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレイヤー」の活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会自主事業

運営協議会の委員が自主的に独自に企画・実施運営を行った事業です。昨年は9の企画を実施致しましたのでご紹介します。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は2010文化の森フェスタから「赤毛のアン・フェスティバル」を

第16回 フォレストメーツ チクリ一筆



私どものNPOは「エセナおおた」の管理と事業運営を行っている団体です。手前みそではありますが、実施する講座のほとんどが定員オーバーの申込があり、「行列のできる講座とチラシ作り」で全国的にも有名になった団体です。そのノウハウを教えて欲しいと、私自身が社会教育施設の職員研修の講師として全国の地方自治体から呼ばれています。いろんな地域に行って何度も言われたセリフが「大田区には『大田文化の森』というすばらしい運営をしているところがありますよね？」です。区民が文化プレーヤーとして企画運営をおこない、さらに区民がコーディネートする手法に関して、住民のやりがいとモチベーションを喚起させる画期的な方法だとして、全国の自治体から注目されているのです。

区内にいと当たり前のような気がすることも、ちょっと外側から見てみると、すばらしい活動をしているんだということがよくわかります。区民が事業運営をしている施設として、もっともっと「文化の森」と協力しあい、切磋琢磨しながら大田区を盛り上げていきたいと考えています。

NPO法人男女共同参画おおた
理事長 牟田 静香

紹介します」

第16回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2010年大田文化の森 フェスタスケッチ

2月に行われた2010年文化の森フェスタのイベントを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森顔でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.35Web版
2010年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

2010年大田文化の森 フェスタスケッチ



■ ホール 荏原流れ太鼓



■ ホール 木遣り唄



■ 1階 展示コーナー



■ 3階 多文化カフェのにぎわい



■ 4階シンポジウム「広めよう！大田の文化」



■ 4階 シンポジウム



■ 3階 とんび凧づくり体験教室



■ とんび凧 揚がった！（入新井第二小学校校庭）

特集

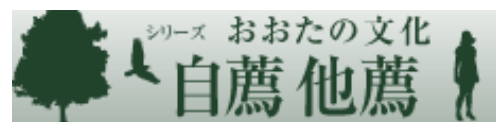
「2010文化の森フォーラム」開催 平成22年5月8日(土)

5月に開催される文化の森の総会である「文化の森フォーラム」が行われます。意見交換・親睦を深める予定です。

運営協議会第四期へのバトンタッチ ～発足10周年記念の年を迎えて～

今年は第四期の新しい運営委員でのスタートになります。第三期運営協議会会長からのメッセージです。

読み応えのあるコラムが自慢



わが街大田の文化を見つけて育てる仲間の活動を自薦他薦で紹介する新シリーズ。初回は歴史的な水環境を学び発信する「水路の会」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校取材します。今回は大田区立山王小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会自主事業

運営協議会の委員が自主的に独自に企画・実施運営を行った事業です。昨年は9の企画を実施致しましたのでご紹介します。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2010文化の森フェスタから「赤毛のアン・フェスティバル」をご



■ 3階 蒲田の江戸切子に触れる講座



■ 3階 のり巻きを作ろう!



■ 5階 多目的室 ワークショップ風景



■ 5階 多目的室～交流会(参加証授与)

紹介します」

第16回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2010年大田文化の森 フェスタスケッチ

2月に行われた2010年文化の森フェスタのイベントを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森にもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.35Web版
2010年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



文化の森 イベント情報 何でもあり

イベント盛りだくさんの春。新しい出会いや活動が待っています。たくさんの方の参加お待ちしております。

※下記の情報は情報誌発行時のものです。最新のイベント情報は運営協議会のサイトで確認してください。<http://www.ota-bunkanomori.jp/event.html>

楽しいイベントが一杯！ ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

■読み語り文学散歩～時代小説へのお誘い～

元、NHKアナウンサーによる時代小説の作品を、毎月1回読み切りで鑑賞。
□開催日時：4月23日(金)、5月7日(各金)14:00～16:00 □会場：多目的室 □定員：当日会場にて先着100名 □参加費：400円

■笑顔がいっぱい「ユニバーサルスポーツ」写真展

1008年から開催された「おおたユニバーサル駅伝」をはじめ、年齢・性別・国籍・身体状況に関わらず、さまざまな人々が同じステージでスポーツを楽しむユニバーサルスポーツを紹介し、スポーツを楽しみながら互いの違いを知って、支えあう「誰もが暮らしやすい街づくり」をめざす。
□開催日時：5月7日(金)～9日(日)10:00～17:00
□会場：1階展示コーナー □直接会場へ

■童謡唱歌を歌って、大田区民と東御市民との交流を深めよう

昨年、大田区休養村とうぶで、東御市民の皆さんと童謡唱歌を歌って楽しい交流を行ったのをきっかけに、友好都市の東御市民と交流する大田区民による合唱団員を募集する。
□練習日時：5月15日、6月26日、7月17日、8月28日、9月18・25日、10月9・23日、11月18日(各土)18:30～21:00
□会場：多目的室 □定員：80名 □参加費：500円(1回)
□申込：5月1日必着 □交流会：12月18日(土)10:00～16:00

■この音！ な・あ・に？

障害のある方、家族どなたでもみんなでいっしょに楽しむコンサート。医療のケアも看護師がつき添うので安心！
□開催日時：6月13日(日)14:00～15:30 □会場：5階多目的室
□定員：抽選で210名(代表者の氏名・電話番号と同伴者名を明記。1通4名まで可) □参加費：500円(1歳以下無料、但し、保護者の膝の上)
□申込：5月29日必着

■みる・ていフェスティバル オープニングコンサート

室井摩耶子のピアノ演奏とお話し、イングリッシュハンドベル演奏、ホルン五重奏の響き、和楽器と唄う日本の叙情歌などを楽しむ。
□開催日時：7月18日(日)12:00～ □会場：大田文化の森ホール
□チケット：2,000円 □大田文化の森窓口にて5月18日10:00から発売(未就学児不可)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

特集

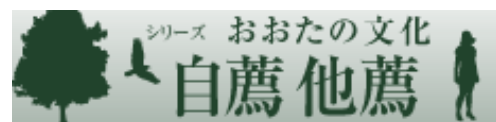
「2010文化の森フォーラム」開催 平成22年5月8日(土)

5月に開催される文化の森の総会である「文化の森フォーラム」が行われます。意見交換・親睦を深める予定です。

運営協議会第四期へのバトンタッチ ～発足10周年記念の年を迎えて～

今年は第四期の新しい運営委員でのスタートになります。第三期運営協議会会長からのメッセージです。

読み応えのあるコラムが自慢



わが街大田の文化を見つけて育てる仲間の活動を自薦他薦で紹介する新シリーズ。初回は歴史的な水環境を学び発信する「水路の会」です。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校取材します。今回は大田区立山王小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会自主事業

運営協議会の委員が自主的に独自に企画・実施運営を行った事業です。昨年は9の企画を実施致しましたのでご紹介します。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2010文化の森フェスタから「赤毛のアン・フェスティバル」を

■手話サポート付きのスポーツ体験教室

手話のサポート付きのヨガ・バランスボール・チューブトレーニング等で聴覚障害者と健常者の交流を図る(障害保険加入済み)

□開催日時:6月5・19日、7月3・17(各土)15:00~16:00

□会場:1階第1スポーツスタジオ □定員:抽選で20名(聴覚障害者と手話に関心のある健常者) □参加費:3,200円

□申込:5月22日必着

■かんたん!初めての自力整体

正しい姿勢(座位、立位、歩行)を知り、自力整体の心地よさを体感し、自身にそなわっている自然治癒力を学ぶ。

□開催日時:6月7・14・21日(各月)10:00~12:00

□会場:1階第1スポーツスタジオ □定員:抽選で20名

□参加費:3,000円 □申込:5月22日必着

■新鮮なハーブを使った家庭料理講習会

家庭で育てた新鮮なハーブを使って楽しめる料理に挑戦。

□開催日時:6月13日(日)10:00~14:00

□会場:3階調理室 □定員:抽選で30名(中学生以上)

□参加費:1,000円 □申込:5月29日必着

■はじめての幼稚園ママ応援プログラム

現役の園長や保護者の話を聞き、幼稚園とはどんなところなのか理解し、お弁当作りの実践や親子で楽しめる工作なども体験して、入園への不安、心配を解消する。

□開催日時:6月18・25日、7月2日(各金)10:00~12:00

□会場:6月18日/4階第2集会室、25日/3階調理室、7月2日/4階第3・4集会室 □定員:抽選で30名 □参加費:1,500円(1、2回は有料保育あり。希望者は明記のこと) □申込:6月1日必着

■花の絵を気軽に描こう。水彩画で!

花をテーマに水彩画で描く。初心者も大歓迎。まずは描いてみましょう。

□開催日時:6月22日、6月29日、7月6日(各火)13:30~16:30

□会場:3階美術室 □定員:抽選で25名

□参加費:3,000円 □申込:6月7日必着

■夏休み集中企画~こども落語講座

夏休みに落語家を講師に招き、古典落語を通し江戸庶民の日常、風習などに親しむ。

□開催日時:7月23(金)・30日(金)、8月6(金)・18(水)・23(月)・27日(金)①13:15~14:45、

②15:15~16:45 □会場:3階和室他

□参加費:3,000円(①小学2~4年生、②小学5年~中学生)

□定員:抽選で各20名 □申込:7月9日必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■自分磨きのおしゃれ塾~子育てママ編~

あなたに似合う“メイク・ファッション”で大変身。クイックビューティ術を楽しくマスター。

□開催日時:5月6・27日、6月3・17日(各木)10:00~11:30

□会場:3階第1集会室 □定員:抽選で12名 □参加費:4,000円 □申込:4月22日必着

■カラーコーディネート&色彩セラピー体験講座

ライフスタイルに生かすカラーコーディネートと誰でも気軽に楽しめる“大人のぬり絵”を体験する色彩活用講座。

□開催日時:5月29日、6月12・26日(土)10:00~11:30

□会場:4階第2集会室 □定員:抽選で25名 □参加費:3,500円 □申込:5月15日必着

■誰でも簡単!リフレッシュ体操

五感を使った簡単なゲームやストレッチなどで、自分で動き、皆と一緒に動く楽しさを体感し、気持ち良く健康に。脳トレ効果も。

紹介します」

第16回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2010年大田文化の森 フェスタスケッチ

2月に行われた2010年文化の森フェスタのイベントを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森にもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号

(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.35Web版

2010年4月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

□開催日時:6月2・16日、7月7日、8月4・18日、9月1日(水)10:00～11:45 □会場:1階第1
スポーツスタジオ □定員:抽選で30名
□参加費:1,200円 □申込:5月19日必着

■「江戸塾」I

公家から庶民の間に生まれ、育った江戸の文化を、講義と体験を通して、江戸の世界を再
発見。

□開催日時:6月2・23日、7月14・28日、8月11・25日(各水)14:00～15:30 □会場:4階第3・
4集会室 □参加費:2,500円

□定員:抽選で60名(成人) □申込:5月20日必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多
数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になりま
す。

おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区10ヵ年基本計画『おおた未来プラン10年』では「区民の自主的な文化活動の拠点として、区民が集い、参加し、交流することを目的として旧大田区役所跡地に建設された施設」と書かれています。

大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、より利用しやすく、親しみのもてる施設を目指しています。

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185㎡)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、1.任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、2.区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、3.「運営協議会の自主企画」の3種類があります。

施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

●企画の実施

1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する、3.運営協議会が行う自主事業に参画する。

●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。

●貸館を利用する

うぐいすネット(コンピュータを活用した登録制の申込システム)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)

●貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。

営業時間 10:00~17:00

定休日 隔週月曜・全館休館日

特集

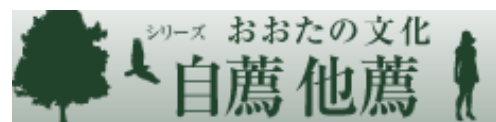
「2010文化の森フォーラム」開催 平成22年5月8日(土)

5月に開催される文化の森の総会である「文化の森フォーラム」が行われます。意見交換・親睦を深める予定です。

運営協議会第四期へのバトンタッチ ～発足10周年記念の年を迎えて～

今年は第四期の新しい運営委員でのスタートになります。第三期運営協議会会長からのメッセージです。

読み応えのあるコラムが自慢



わが街大田の文化を見つけて育てる仲間の活動を自薦他薦で紹介する新シリーズ。初回は歴史的な水環境を学び発信する「水路の会」です。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校取材します。今回は大田区立山王小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会自主事業

運営協議会の委員が自主的に独自に企画・実施運営を行った事業です。昨年は9の企画を実施致しましたのでご紹介します。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2010文化の森フェスタから「赤毛のアン・フェスティバル」を

大田区役所 大田文化の森運営...

日本, 〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

保存

[拡大地図を表示](#)



[Googleマップで大きな地図を見る](#)



404. That's an error.

The requested URL /maps/sv was not found on this server. That's all

[Googleマップで大きな地図を見る](#)

バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)
東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

- 大田文化の森運営協議会事務局
〒143-0024 大田区中央2-10-1
電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704

紹介します」

第16回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2010年大田文化の森フェスタスケッチ

2月に行われた2010年文化の森フェスタのイベントを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森にもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704
■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。
■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.35Web版
2010年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



おおた文化の森



Home



F&F 編集後記

◆本誌を担当し始めた時、編集の両軸としてFACE(顔)&FLAG(旗)すなわちF&Fを目指すことにしました。「顔」は大田区区民文化活動と文化の森運営協議会の顔を生き生きとかつ正確に報道することです。「旗」は挑戦し前進し進化するために羽ばたく旗をかかげることです。そして3年経ち任期を終えるにあたって、足らざるを自省しております。

◆また文化の森FORESTのイメージとして、F=free(自由で) O=open(開放的で) R=relaxed(楽しくて) E=energetic(活気ある) S=smart(洗練された) T=trendy(時勢に合った)を唱えました。区民文化活動の殿堂といわぬまでも「ベースキャンプ」あるいは心地よき「居場所」であることを瞼と胸に描きつつ編集につとめてきました。

◆「坂の上の雲」ではありませんが、坂はまだつづき雲はまだ高いかもしれません。しかし文化の森の活動もこの本誌も、一步一步前進しているたしかな手ごたえを感じつつ任を離れ筆をおかせていただきます。

運営委員(編集長) 福野 幸雄

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

【お詫び】前号34(冬)号「地域ネットワーク」掲載、「女塚伝説について」の内容に一部誤認がありましたので、お詫びいたします。(編集部)

特集

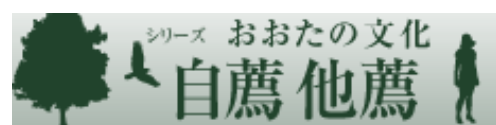
「2010文化の森フォーラム」開催 平成22年5月8日(土)

5月に開催される文化の森の総会である「文化の森フォーラム」が行われます。意見交換・親睦を深める予定です。

運営協議会第四期へのバトンタッチ ～発足10周年記念の年を迎えて～

今年は第四期の新しい運営委員でのスタートになります。第三期運営協議会会長からのメッセージです。

読み応えのあるコラムが自慢



わが街大田の文化を見つけて育てる仲間の活動を自薦他薦で紹介する新シリーズ。初回は歴史的な水環境を学び発信する「水路の会」です。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校取材します。今回は大田区立山王小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

運営協議会自主事業

運営協議会の委員が自主的に独自に企画・実施運営を行った事業です。昨年は9の企画を実施致しましたのでご紹介します。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2010文化の森フェスタから「赤毛のアン・フェスティバル」を

紹介します」

第16回 フォレストメーツ チクリ 一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2010年大田文化の森 フェスタスケッチ

2月に行われた2010年文化の森フェスタのイベントを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森にもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.35Web版
2010年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

